



令和6年
12月1日
第61号

発行
内外政治
研究G
代表 宮田修一

共同通信社

左翼体質が生んだ事件

「第二の慰安婦連行捏造報道」

共同通信は11月2日、自民党の生稲（いくい）な）晃子参院議員（現外務政務官）が、「令和4年の終戦記念日に靖国神社を参拝した」とする過去の配信記事と直近の配信が誤りだったことを認めました。靖国参拝自体は何の問題もないことなのですが、共同はファクト

を確認もせず、内外の反日勢力に「ご注進」して彼らを喜ばせたのです。その意味では、かつての「教科書書き換え誤報」や朝日新聞の「慰安婦連行捏造報道」と並ぶ利敵行為であり、共同通信の左翼的体質そのもの起因していると言わざるをえません。

国民のチェック機能が効かない共同の配信

共同通信には、地方紙やブロック紙、テレビが加盟。配信先の新聞の部数は読売や朝日を大きく凌ぎます。憲法改正や皇位継承、夫婦別姓問題など国内政治に関する地方紙の「社説」が偏っているのは、共同が配信している社説用の「論説資料」をほぼそのまま使っているからです。

国益害したことの反省がない「おわび」

同社の「訂正とおわび」には、「当初の報告が見間違えだった」と意味不明な弁解が記され、「日韓外交に影響した可能性があります」と他人事のような言い訳に終始しています。

韓国の外相は7日、共同通信の訂正を受けても振り上げた拳をそのまま降ろすわけにもいかず、「（追悼式欠席について）ある程度は影響した」と述べています。

【教科書書き換え誤報】

昭和7年6月、文科省が高校用教科書の検定で「中国華北地域」への「侵略」を「進出」に書き換えさせたとしてマスコミが報道して外交問題になったが、書き換えの事実はなかった。

【慰安婦連行捏造報道】

朝日は昭和5年から、陸軍労務報告会にいたという吉田清治（故人）の「濟州島で軍令で地元女性を強制連行し慰安婦にした」とする「証言」を十数回にわたって掲載。平成26年になって証言を虚偽とし記事を撤回した。

自衛隊明記を求め国民集会



「美しい日本の憲法をつくる国民の会」（共同代表・櫻井よしこ氏）が主催する「自衛隊明記の憲法改正を求める国民集会」が1月24日に都内で開かれました。識者の提言に続いて、自民党政調会長の小野寺五典氏など野党の代表者が挨拶。「政党の垣根を越えて自衛隊明記と緊急事態条項の改正原案作成に取り組む」ことを求める「声明」を採択しました。

百合子妃殿下薨去

豊島岡墓地で「斂葬の儀」

故三笠宮崇仁殿下の百合子妃殿下が11月15日、101歳で薨去されました。16日に臨時の平河町通信（メール）でお知らせしたように、26日に孫の彬子女王殿下が喪主となって東京・文京区の豊島岡墓地で「斂葬の儀」が執り行なわれ、ご遺骨は同墓地にある三笠宮家の墓所に埋葬されました。改めて、衷心よりお悔やみ申し上げます。

